

第2回ジェット口跡地活用に係る基本構想市民検討会 次 第

1. 開 会

2. 議 題

- (1) 第1回検討会のまとめ
- (2) ジェット口跡地の活用方針について

3. その他報告

- (1) トライアルサウンディングの実施について

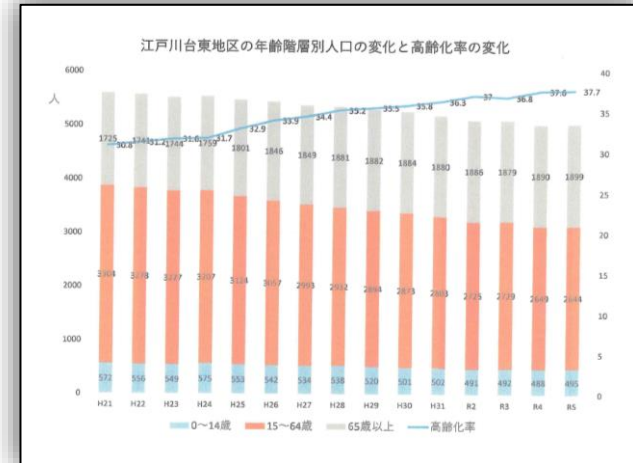
4. 閉 会

2. 議題

(1) 第1回検討会のまとめ

①地域の実態（三好氏）

- 高齡化の状況、資源ごみ収入の推移、年齢階層15年間データ
⇒人口構成の構造的な変化



②石田先生の講演

- 人と人がつながることが困難に
- ゆるやかにつながる「居場所」
- 地域特性に応じたつながりづくりを



これからの人と人とのつながりのあるべき姿

ジェトロ跡地活用に係る市民検討会
2023年8月
石田光規@早稲田大学（南流山在住）

ゆるやかなつながりのススメ

- 強いつながり = 「よい」という考え方の落とし穴
✓強いつながりが苦手な人もいる



- ✗ 構えずぎてしまう
- ✗ うまく話せない
- ✗ かえって疲れる

✓強いつながりだからこそ装ってしまい頼れないという現象

ゆるやかなつながりのススメ

- ✓何かがあったとき「オン」になるようなつながりの種をまいておく
 - 手前味噌ですが卒業生の対応
- ✓茶飲み友だちのようなつながりを見直す

(1) 第1回検討会のまとめ

③ワークショップ

・江戸川台周辺の魅力と課題

Aグループ



Bグループ



Cグループ



■江戸川台の魅力

| 市民アンケート（令和3年度） | 前回のワークショップ結果 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">• 緑が豊かでゆったりと過ごせる• 治安が良く安心して暮らせるまち • 駅前出張所など便利な公共施設がある• 歩いて安全に買い物ができる• 鉄道・バス・タクシー等で乗り継ぎしやすい | <ul style="list-style-type: none">• 公園や緑が多い• 区画と庭が広く良質な住環境• 閑静で落ち着いたまち • 商店街、祭りや銭湯など特色がある• 鉄道やバス路線が充実した利便性の高い • 近所の人とあいさつできる関係がある• 教育施設が充実している |

■江戸川台の課題

| 市民アンケート（令和3年度） | 前回のワークショップ結果 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">• 若者が少なく活気や賑わいがない• バリアフリーが十分でない• 駅前広場が狭く、車での送迎や通行がしにくい• 魅力的なお店が少ない• 待ち合わせがくつろげる場所がない | <ul style="list-style-type: none">• 高齢者が多い• 子どもや子育て世代が少ない• つながりが希薄化している• バリアフリーになっていない• 空き家が増える• 施設が老朽化している• 魅力的なお店が少ない• ふらっと集まる場所がない |

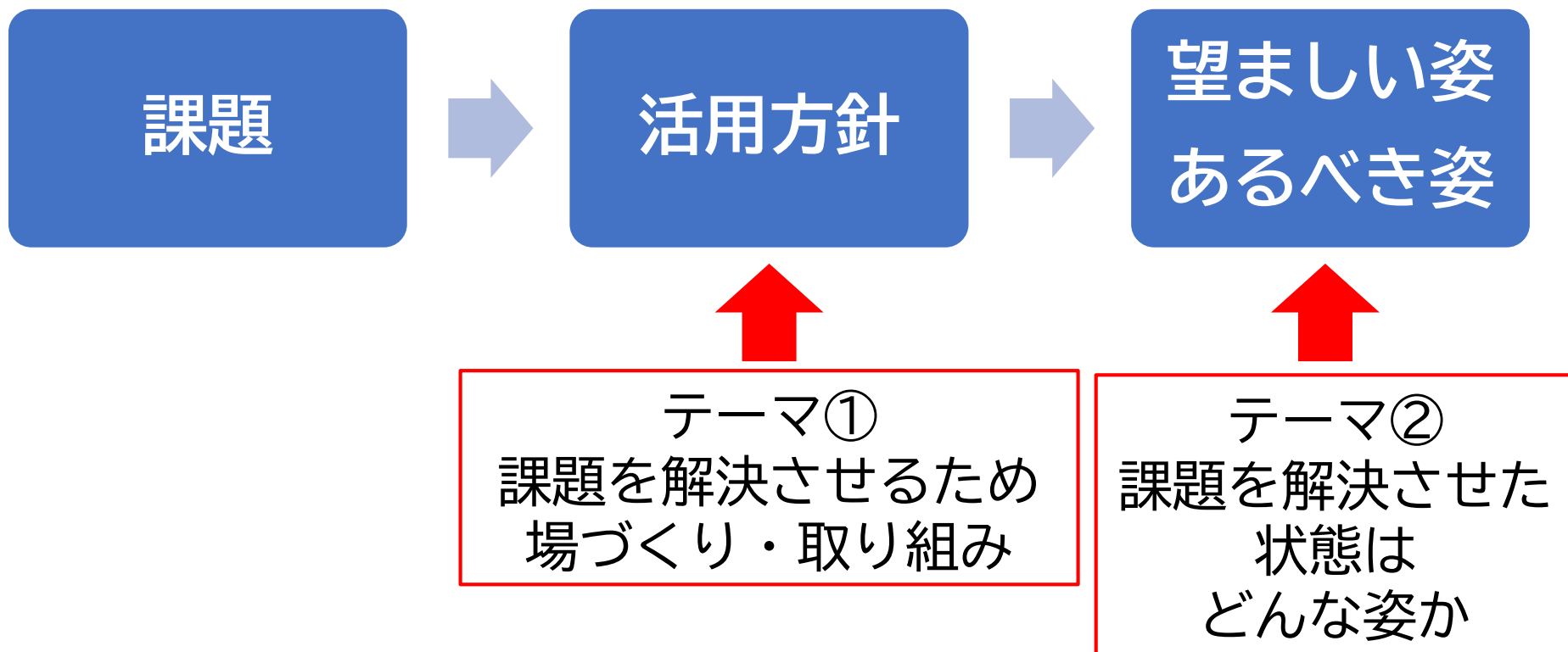
■江戸川台の課題まとめ（ジェット口跡地）

- 高齢者が多い
⇒ 高齢化社会へ対応した支え合う体制づくり
- 子どもや子育て世代が少ない
⇒ 次世代を担う子どもや若者の確保
- ふらっと集まる場所がない
⇒ 住民同士がつながる機会づくり
- バリアフリーになっていない
⇒ 高齢者、障害者、子どもの他、誰もが過ごしやすい環境づくり
- 魅力的なお店が少ない
⇒ 地域固有の魅力づくり

(2) ジェトロ跡地の活用方針について

活用方針とは

本日のワークのイメージ



■前提条件

<エリアビジョン(R5.2月策定)>

<目標・土地利用方針>

目標：「ここに居たい、ここに来たい」と感じられる場づくりを。

小目標

- 商店街のかたちが残った
①出会いと交流があるまち
- まちなかを回遊・滞留できる
②歩いて楽しいまち
- 人と車両との交差点少なく、必要な機能集約された
③安心・安全なまち

→ エリア全体の目標

<将来エリアイメージ図>



- ・ジェット口跡地の施設利用者駐車場
- ・スクールバスや企業バスの乗降場
- ・地元との合意形成を図りながら、高齢者や子どもが安心・安全に回遊できる歩行者優先の道路化

- ・江戸川駅前庁舎、北部地域包括支援センターの行政施設ほか、老朽化した公共公益施設の集約
- ・新たな集客を見込める魅力的な空間の創出

→ ジェット口跡地の土地利用の方針

- ・交通需要に対応したロータリーの拡幅
- ・歩行者が滞在しやすく、様々な催し物やイベントができる広場空間の創出

<スケジュール(予定)>

| 項目 | 共用開始時期 |
|---------|----------|
| ジェット口跡地 | 令和9年度 |
| 駅前広場 | 令和10年度 |
| 商店街通り | 令和8年度(※) |

※地元との合意形成を図りながら進めていきます。

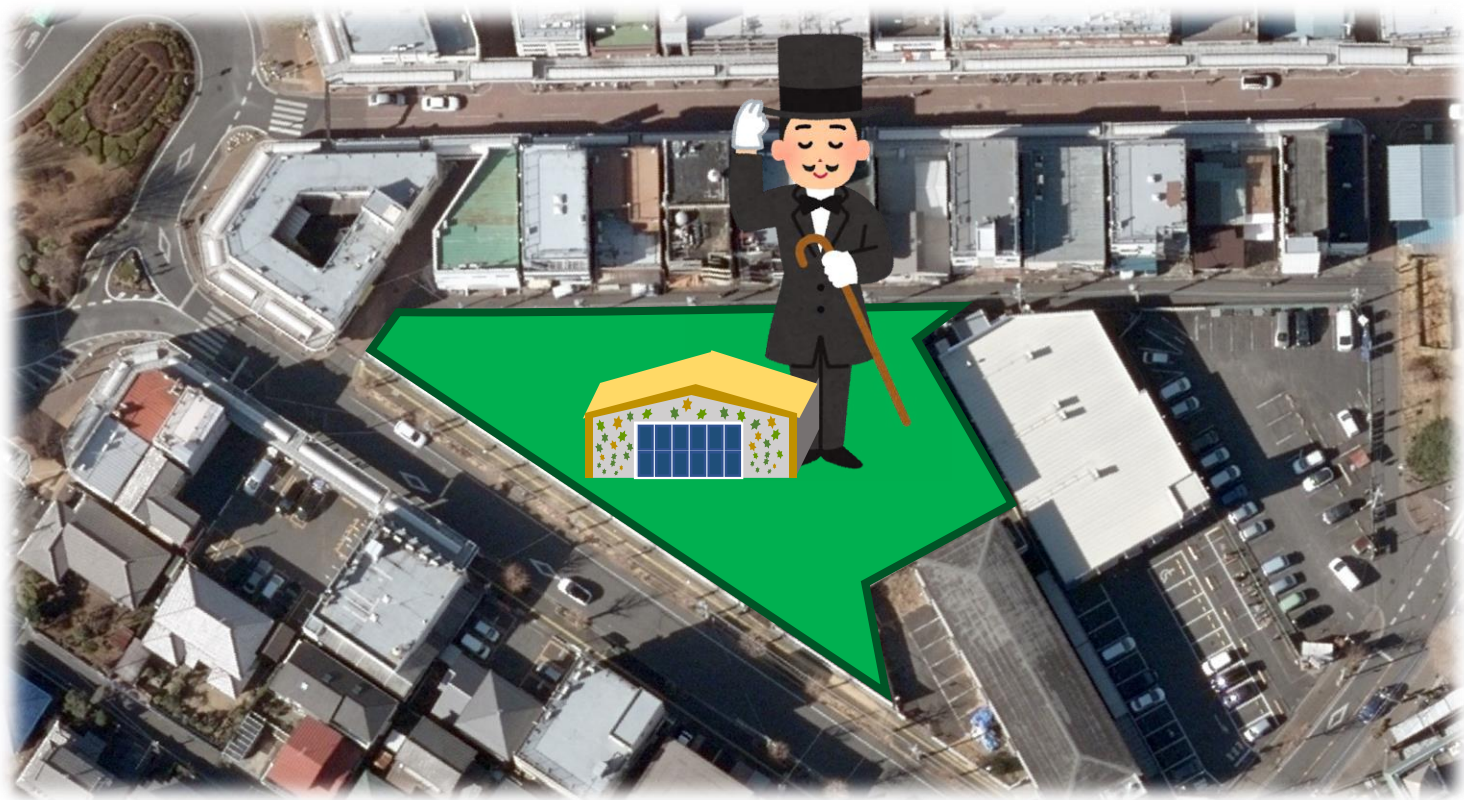
※あくまでもイメージです。今後、詳細な設計を行います

個人ワーク（10分）

テーマ①

ジェット口跡地をどのようなことをさせる場にしたいですか。

あなたが仮にジェット口跡地で施設の1つを自由に運営できるとして、地域の課題を踏まえて、どのようなことをさせる場にしたいですか。最も重要だと考えていることを1つ考えてください。



テーマ①

ジェット口跡地をどのようなことをさせる場にしたいですか。

例

ワークシートに沿って考えてみましょう。

- 解決させたい課題

次世代を担う子どもや若者の確保
住民同士がつながる機会づくり

- 誰に対して

子ども（未就学児）、地域外の人にも来てもらう

- どのようなことをさせる場

子どもの遊び場。遊戯・工作・読書など子どもが中心となって、様々な体験を通じていろんなことにチャレンジすることを学ばせる。自ら含め地域の人がスタッフとして子供たちに工作などを教える。

- いつ・どの程度

平日夕方、土日 週6回

- なぜ

子どもが好き。江戸川台に子どもを増やす注目される拠点としたい。子どもをきっかけにすると大人から子どもまでが繋がれる。

← 第1回検討会でまとめたものから選ぶ

← それは誰をターゲットにしたものか、具体的に

← どんなことをさせる場なのか。自分の行動も含めて。

← いつ利用する場なのか。

← なぜそのような場なのか。自分としての理由も。

テーマ①

ジェット口跡地をどのようなことをさせる場にしたいですか。

発表
(1人2分以内)

発表したいグループから1人ずつ発表してください



講評
(1グループ3分)

グループ全員の発表が終わったら
石田座長から講評をいただきます

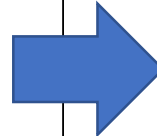
グループワーク（15分）

テーマ②：テーマ①で出し合った場合は、どんな人がどんなことをしているイメージですか。

自分のプランについての場のイメージを自由欄に書き出し、グループで発表してください。

例

- 解決させたい課題
次世代を担う子どもや若者の確保
住民同士がつながる機会づくり
- 誰に対して
子ども（未就学児）、地域外の人にも来てもらう
- どのようなことをさせる場
子どもの遊び場。遊戯・工作・読書など子どもが中心となって、様々な体験を通じていろんなことにチャレンジすることを学ばせる。自ら含め地域の人がスタッフとして子供たちに工作などを教える。
- いつ・どの程度
平日夕方、土日 週6回
- なぜ
子どもが好き。江戸川台に子どもを増やす注目される拠点としたい。子どもをきっかけにすると大人から子どもまでが繋がれる。



例

- 平日の夕方、子どもたちで溢れていて、みんな全力で遊んでいる。
- 工作の場では、互いに協力しながら集中して1つのものをつくらせている。
- 親はその間、親同士でおしゃべりをしてくつろいでいる。
- 高齢者が自分の経験を活かして、子どもたちに工作を教えている。

テーマ②：テーマ①で出し合った場合は、どんな人がどんなことをしているイメージですか。

発表
(1グループ3分以内)

発表したいグループから
代表者がまとめて発表してください



講評
(5分)

全グループの発表後
石田座長から全体の講評をいただきます

3. その他報告

(1) トライアルサウンディングの実施について

■ トライアルサウンディングとは

ジェット口跡地の将来の活用可能性を検証するため、市民や民間事業者等に、実際にジェット口跡地をお試して活用してもらう制度。

民間の出店等をメインに、それに合わせて市民に開放してどんな使い方ができるかを実験する。

■ 開始時期

令和5年11月～

■ 募集条件等

詳細は、令和5年11月1日までに市ホームページにて掲載します

3. その他報告

(1) トライアルサウンディングの実施について

本日話し合った内容を
ジェット口跡地で試してみませんか？

どんなことができるか、いつやるか など
やってみたいことをグループで共有しましょう。

商店街を活かす“場”をつくる

- ・商店街を歩き、楽しい店を発見
- ・買ったものをジェット口で食べてみる



つながる“場”をつくる

- ・コミュニティの場は公共施設だけじゃない
- ・コーヒーをふるまってつながりを深めてみる



子どもの声が聞こえる“場”をつくる

- ・実はこどもはたくさんいる
- ・子どもが関わり遊べる場をつくってみる

